

山盲だより「むつぼし」第11号

発行 平成27年10月2日

山形盲学校総務・広報部

自ら求め、発信する力を

校長 村形 緑

10月。爽やかで実り豊かな季節の到来です。後期の教育活動においても、今まで以上に創意工夫し指導にあたる所存です。特に最高学年にある児童生徒は、卒後の進路・自立をしっかりと見据え、地に足を着けて過ごす日々の始まりです。一人一人の夢や希望が実現される「その日」を信じて、保護者の皆様とのつながりを一層密にしていきたいと思います。

話は変わりますが、平成28年4月に『障害者差別解消法』が施行されます。平成18年12月に、障がい者の人権及び基本的自由の確保等を目的とした『障害者の権利に関する条約』が採択され、我が国では昨年1月に条約を批准しました。しかしながら、盲導犬を伴っての入店を断られたり、見えなくて危ないとの理由で一人暮らし希望者の住宅賃貸が叶わなかったり、市町村の選挙公報に点字版が無かったり等々、本校の児童生徒も直面するであろう事例(差別と思われる事)が本県においても少なからず報告されています。安心して暮らせる社会の実現のためにも、問題意識をもち、自分の言葉で発信できる力を育てることが大切と考えます。本校PTA初の『点字ブロック理解推進事業』は絶好の発信の場です。ぜひご参加ください。

第1回PTA研修会

テーマ「視覚に障がいのある人の簡単クッキング」

6月26日（金）、第1回PTA研修会が行われました。

本校卒業生である佐藤喜代子さんと、佐藤さんのご友人である森葉子さんを講師にお迎えし、「視覚に障がいのある人の簡単クッキング」というテーマで、作り方のポイントを中心に教えていただきました。

今回調理したメニューは、①チキンのトマト煮 ②野菜サラダ ③麴の甘辛煮の3品で、材料の切り方や煮え具合の判断の仕方などのポイントを交えて実演していただきました。その後、参加した保護者・教職員が3つのグループに分かれ、教えていただいたポイントをふまえて実際に調理し、みんなでおいし

くいただきました。

最後に、調理をする際の苦労や食材を購入する手段などの質問に回答していただいたり、今後の子どもたちへの支援に対する助言をいただいたりして、大変有意義でした。参加した保護者の皆さんからは、「体験談を聞くことができてよかった。」「調理のコツが分かり、勉強になった。」「何でも経験すること、積み重ねることの大切さを実感した。」などの感想が寄せられました。

各学部の行事より

<幼小学部>

- ・ 上山市陸上記録会——5・6年生4人の力を合わせてバトンをつなぎ、リレーでみごとゴール！
- ・ 生活科校外学習——浜田広介記念館に行ったよ。

<中学部>

- ・ 進級を祝う会——みゆき公園の桜の下で団子を食べました。
- ・ 斎藤茂吉記念館見学——斎藤茂吉はどんな人？

<高等部>

- ・ 進路校外学習——本校卒業生が開業しているもりや治療院で施術体験をしてきました。
- ・ 風船唐綿の苗の植え付け——うまく育ってね！

<寄宿舎>

- ・ 舎祭 ——舎祭特注弁当を食べながら。ワクワク、ドキドキ、イントロドン！！（イントロゲーム）
- ・ なごみの会——日本茶・紅茶・コーヒーの出し方、いただき方を学んでいます。

第64回東北地区盲学校弁論大会

6月30日（火）、青森の明の星 中高等学校を会場に、第64回東北地区盲学校弁論大会が行われました。本校からは中学部2年女子生徒、高等部普通科2年女子生徒の2名が出場しました。

両者とも受賞とはなりませんでした。練習の成果を十分発揮し、800人を超える大勢の聴衆の前で堂々と発表していました。また、他校の弁士の発表を

聞くことで、幅広い考えに触れ、多くのことを学ぶことができました。

幼小学部運動会

5月30日（土）、幼小学部の運動会が、グラウンドと体育館で行われました。音響走、徒競走、リレー、応援合戦、まり入れなどを保護者や中川小学校のみなさんといっしょに、楽しくがんばりました。接戦の末、優勝は赤組、応援賞は白組でした。

編集後記

日ごろよりPTA活動にご協力いただき、ありがとうございます。ご多用中のところ、たくさんの方にご協力いただきまして、この度、無事にむつぼし第11号を発行することができました。ありがとうございます。

（総務・広報部長）